

広報 やまこし

1982 3月 第165号

発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 印刷/大川印刷株式会社 毎月1日発行



この春卒業生100名

この春中学を卒業する男子32名、女子31名の生徒です。3月は卒業生にとって、クラスメイトと別れの月であり、高校入試や、就職で新しく社会に飛び出す、人生の大きな節目でもあります。卒業おめでとう。未来に向かって大きくはばたいてください。

国民健康保険

保険証の検認を行います



春一番

お知らせ

検認がないと四月から保険証は使えません

現在みなさんが持つておられる国保の保険証の検認を三月下旬に行います。日時、会場は回覧等でお知らせしますが、家を離れている学生の①保険証や、旅行や施設入所のための②保険証も検認が必要です。家族の方は早めに行います。

保険証を取りもどしておいてください。(出稼ぎ者の③保険証は検認の必要がありません)

検認を受けないと保険証は四月から無効となり、医者にかかっても医療費を全額徴収されることもありますので、忘れずに受けてください。(住民課)



住民税・所得税の申告は 3月15日までです

～期限内に遅れないよう申告してください～
長岡税務署(35)2070
役場税務課

住民税納税相談日程

期日	会場	対象	時間
3月	大久保集会所	大久保	9:00~11:30
8日(月)	梶金集会所	梶金	13:30~16:00
9日(火)	下村集落センター	向田、下村二丁野	9:00~16:00
10日(水)	〃	二丁野	9:00~11:30

昭和57年度 農業労務賃金



男-5,500円 女-4,300円

期間：57年4月1日～58年3月31日

スキー教室

村教育委員会で、次のとおりスキー教室を開きます。スキーに自信のない方も腕自慢の方も、おさそい合せて多数ご参加ください。

- ▽期日・会場
三月七日(日) 二丁野焼山スキー場
三月十四日(日) 種彦原スキー場
- ▽日程
午前九時三十分 集合、受付
〃 十時～十一時 午前の部講習
午後一時～三時 午後の部講習
- ▽対象者
小・中学生、高校生、一般
- ▽講習内容
能力別に班をつくり、回転技術の基礎を学ぶ。指導には、全日本スキー連盟有資格者があたり

子どもの心と体の発達

家庭教育講座として次のとおり講演会を開きます。子どもをもつたお母さん方など、多数ご参加ください。

- ▽期日・会場
三月十三日(土) 虫亀保育所
〃 二十日(土) 種彦原保育所
〃 二十二日(月) 竹沢保育所
- ▽時間—各会場とも、午後一時三十分～三時三十分
- ▽内容—子どもの心身の発達、テレビの見せ方、ほめ方・しかり方など
- ▽講師
中越教育事務所社会教育主任 坪井 一郎先生

売買・廃車などの手続きはお早めに

もうバイクがないのに税金だけがた。…毎年五月の軽自動車税の時期になると、こんな問い合わせがきます。廃車や売買の手続きをしなかつたためです。

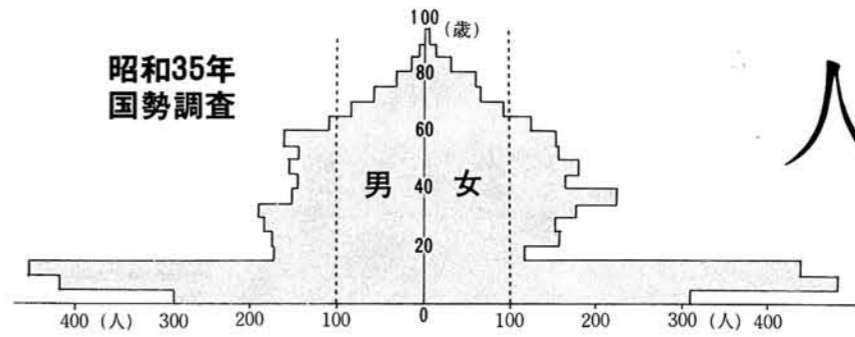
老人居室整備資金 申込受付

軽自動車税は、毎年三月三十一日現在で、そのバイクや軽四輪を持つている人に一年分の税金をかけるものです。ですから三月までに廃車すれば、翌年度から税金はかかりません。今年度買い替えや売つたりした方は、もう一度確認してみてください。(税務課)

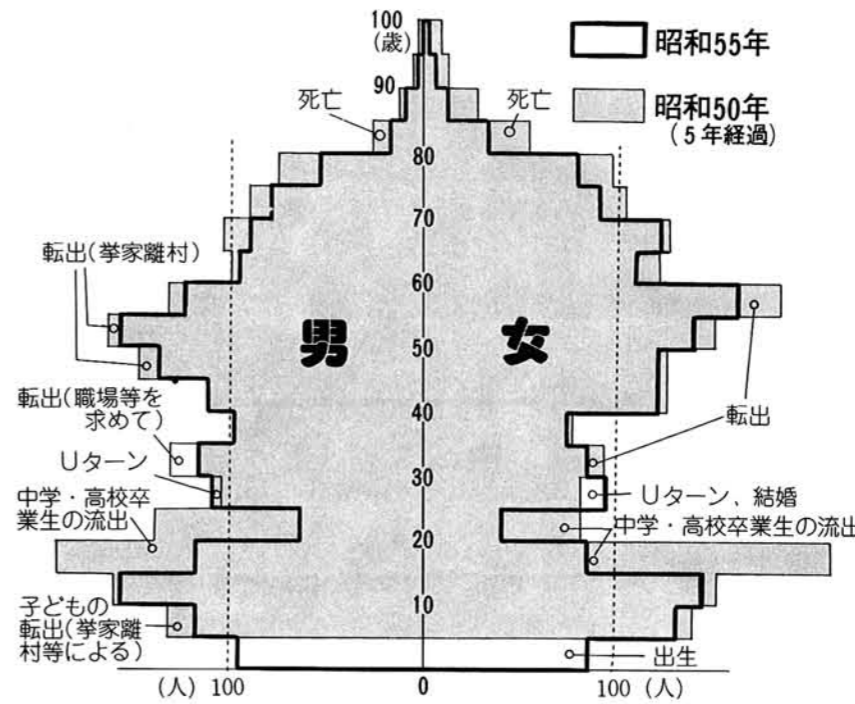
- ▽昭和五十七年度老人居室整備資金交付の申し込みを、次のとおり受け付けます。希望者は期限までに申し込んでください。
- なお、申込者多数の場合、ご希望に添えかねることがありますのでご了承ください。
- ▽申込期限—四月十日まで
- ▽対象者—満六十歳以上の老人の居室を作る人で、所得税を納めていない人
- ▽貸付人数—一人
- ▽貸付金額—百二十万円以内
- ▽返済方法—十年の元利均等償還(年賦・半年賦)
- ▽利率—年三・二%予定
- ▽申込場所—役場住民課



人口の減少・老齢化



国勢調査年齢別人口（5歳階級）



昭和55年国勢調査最終結果

昭和55年10月1日に行われた国勢調査の結果が公表されました。それによると村の総人口は3,508人、世帯数931で、55年12月号でお知らせした概数のとおりです。

年齢別人口は左の図（太線が55年）のとおりで、特に20代前半が極端に少なくなっています。15歳未満の子どもは35年調査の3分の1に減少。65歳以上の老人は600人、総人口の17.1%で新潟県平均の1.5倍と、人口の老齢化が著しくなっています。

昭和50年から5年間の人口の動きを図でみてみましょう。□の部分には50年調査から転出入、出生、死亡なしとして5年経過させたものです。中学高校卒業生の流出、働きざかりの転出、挙家離村などによる減少がめだちます。いっぽうUターンによる増加も20代後半でみられますが人数は少なく、出生数もかなり減ってきました。

この若者と出生数の減少した人口構造は、人口減少に結びつく非常に不安定な形です。今後の村の人口を考えると、Uターンを含め、若者が村に定着できるようにすることが一番の課題といえます。

なお、村で働いている人は1,925人。農業が国勢調査で初めて50%を割り、特に若年層の農業離れが進んでいます。

1日1円の……
交通災害共済

交通災害共済も今年で十二年目に入り、五十七年度の加入受付を行っています。

- ▽共済期間——四月一日～来年三月三十一日（中途加入は会費納入の翌日～来年三月三十一日）
- ▽会費掛金——一人年額三百五十円（中途加入も同じ）
- ▽見舞金——死亡百万円、一級障害七十万円、実治療日数七日以上（一級障害）の程度により二万円～十五万円。ただし、無免許や飲酒運転、故意などによる事故の場合は支払われません。
- ▽加入申込——区長を通じ申込書を配布します。会費を添えて区長または役場総務課へ。
- ▽交通事故にあっては、警察署に届け出て下さい。自損事故の場合も必ず届け出て、交通事故証明書ももらってください。（総務課）

昭和55年産業別就業者数（15歳以上）

総数 1,925人	不動産業 2(0.1%)	運輸・通信 40(2.1%)	金融・保険 5(0.3%)	電気・ガス・水道 4(0.2%)	公務 60(3.1%)
農業 893 (46.4%)	水産業 122 (6.3%)	建設業 304 (15.8%)	製造業 201 (10.4%)	卸売・小売 112 (5.8%)	サービス業 182 (9.5%)
第1次産業 1,015 (52.7%)	第2次産業 505 (26.2%)	第3次産業 405 (21.1%)			

県知事選挙は4月25日(日)

おじさまさま (10)

先生の料理番

子どもが「かあちゃん、そんなのできるんか」って

池谷の 五十嵐紀曾さん

五十嵐紀曾さん(39歳)は、ご主人政雄さんの出稼ぎの留守を守りながら、角突き牛三頭を飼ひ、池谷教員住宅の食事づくりをしています。ご主人の楽しみで牛を飼ひ始めたのは六年前とのことだ。「最初のうちは、草刈りして車を通ったりすると、はずかしくてやだなんて感じたんです。今は慣れて牛がかわいいです。でも、牛を引いて歩くのはちょっとおっ



子どもは四人。いちばん下の時紀ちゃんも四歳になって手がか

任期満了による県知事選挙は、三月三十一日(水)に告示され、投票日は四月二十五日と決まりました。

これから四年間の新潟県政を担う人を選ぶ選挙です。告示の日から不在者投票も開始されますが、棄権しないで、自分の判断に基づいた一票を投じてください。

お持ちですか
郵便投票証明書

重度の身体障害者で「郵便投票

証明書の「四年間有効」をお持ちの方は、選挙のとき郵送による在宅投票ができます。

次に該当し、まだ証明書のない方、または有効期間の過ぎた方は、早めに選挙管理委員会(役場総務課へ)お申し出ください。

証明書の「四年間有効」をお持ちの方は、選挙のとき郵送による在宅投票ができます。

次に該当し、まだ証明書のない方、または有効期間の過ぎた方は、早めに選挙管理委員会(役場総務課へ)お申し出ください。

該当者……▼身体障害者手帳をお持ちの方 両下肢もしくは体幹の障害が一級か二級。心臓・じん臓または呼吸器の障害が一級もしくは三級。▼戦傷病者手帳をお持ちの方 両下肢もしくは体幹の障

からなくなり、「まわりの人はみんな内職や仕事をしていて、自分も何かしなきゃ」と思ったそうです。そこへ、教員住宅の食事をたのまれて、今年一月から始めたこと。

「まだ始めたばかりで、献立表なしでやらせてもらっています。今のところ先生はおいしいと言ってくれますし、きれいな所で料理するのは楽しいんですが、うちの食事と違って人に食べさせるのだから……。テレビの料理番組を見たり、嫁ぐ前の女中奉行がずいぶん役に立っています。子どもたちが「かあちゃん、そんなのできるんか」って……。献立や予算など、よその住宅の人と話し合っ聞いてみたいですね」

五十嵐さんの実家は福島県。初

国民年金

4月より保険料が月額5,220円に

納期は4月、6月、8月、12月、2月です。1期(2か月)分の保険料は10,440円、付加保険料(月額400円)を納めている人は11,240円になります。



全日本錦鯉品評会 村内入賞者

- 一月二十三日、二十四日に開催された第十四回全日本錦鯉品評会で、山古志村から次の方々が入賞しました。
- ◆優勝 五十嵐幸作(虫亀)1部光り写り 田中 重雄(〇)11部写りもの
 - ◆準優勝 星野米一(二丁野)2部光り無地 広井 利信(桂谷)〇光り模様 長島辰太郎(虫亀)3部変りもの 関 勇(梶金)6部変りもの 錦鯉総合センター10部光り無地



若い芽、健やかに...

青少年育成村民会議を発足

校内暴力や家庭内暴力、万引、シンナー遊びなど少年による非行が毎日のように報道され、大きな問題となっています。ところで、山古志村ではまだ少年の非行は表面化していないというのですが、決して「非行は都会だけのこと」と安心はできません。テレビばかり見ている、友だちと外で遊ばない、忍耐力がない、親と話をしない、などの声を耳にしますが、こういったことも少年非行の大きな要因といわれています。また、店頭でジュースを飲んだりお菓子を食べたりしている子供を見ますが、みなさんはどうお感じでしょうか……。

非行の罫

村では、少年非行を起こさないよう『青少年育成山古志村民会議』を一月二十八日に発足しました。役場住民課を事務局に、地区、学校、PTAなど村総ぐるみで、子供を健やかに育て、少年非行を起こさせない環境づくりを行おうというものです。

- ・ウソは非行の赤信号
- ・成績が急にダウン
- ・ふらりと目的なく外出する
- ・親の知らない友だちが増える
- ・服装や髪型が乱れる
- ・多額な小遣いを要求する
- ・夕食をあまり食べない
- ・かくれてタバコを吸ったり、ポルノ雑誌を読む
- ・言葉使いがなげやりになる



小学生の家庭調査から (母親分)

「子供の家庭教育を考える(3)」



「小学生の家庭生活に関するアンケート調査」から、今月は母親についての結果をお知らせします。小学生を持つ百二十一人の母親を対象に行ったものですが、前月号の児童分の結果とも比較してみてください。

家庭・環境

「子どもにとって、家庭とほどのようなところだと思いますか」

話し合い・しかるとき
「あなたは、子どもとよく話し合いますか」 (%)



「子どもをきつくしかるのはどんなときですか」
(単位%)

うそをいったとき	48
人に迷惑をかけたとき	35
親に口答え	9
行儀悪い食事をした	4
決めた手伝いをしない	3

テレビ

「子どものテレビを見る時間をどう思いますか」 (%)



「テレビを見る時間について、子どもと約束ごとをしていますか」

- (1)自由に見せている……72%
- (2)時間と番組を決める……14%
- (3)見る番組を決める……9%
- (4)見る時間を決める……2%
- (5)なるべく見せない……2%

勉強時間

「子どもの家の勉強時間は」

- 長すぎる2%
- やや長い3%
- 適当だ57%
- やや短かい12%
- 短すぎる26%

お小遣い

「子どもの小遣いの使い方は」

- 貯金させるようにしている36%
- むだ使いが多いと思う23%
- 計画的に使っているようだ16%
- 小遣いはやっていない25%

PTA活動

「PTAの事業や行事に参加しますか」

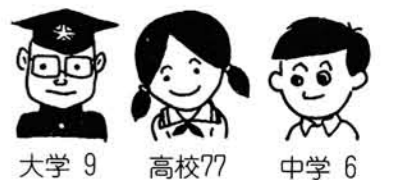
- よく参加する64%
- しばしば参加する33%
- 参加しない、できない3%

「子どもが将来どのような人になってほしいですか」 (%)



子どもの将来

「子どもにどの程度まで教育を受けさせたいですか」 (%)



進学

おやぢのあそび

八犬伝とその作者

馬琴

(146)

馬琴が病気になる前の、寒くなった頃だったという。喘息に胸痛であった。「著作堂雑記」などを見ると、「嘉永元年十一月五日、竹瀝(竹のあぶらの事)を用ふべきむね仰せられたるに、中島玄伯に問ひ合せ候ところ、至極よろしきよし。渴はなはだしく葛湯片栗そのほか益氣散などを用ゆ。御雑談、平日の如し。その夜に至り御遺言仰せられる。その後、御胸痛煩悶はなはだしきこと兩三度。それより少々納まり候やう存じ候て、六日、寅の刻に、喘然として御臨終あそばされ候年八十二」

これは嫁お路自身の文章と文字を駆使したもの。おどろくべき成長といわれよう。自家製の奇応丸、熊胆黒丸なども服用、医師は中島玄伯であった。別な医師もと嫁は氣をもんだが馬琴は老骨極りなつた今、医師など選ばなくともよいときかなかつたという。

遺体は八日、滝沢の一家眷族妻子の眠むる茗荷谷の深光寺に葬られた。会葬者は四百名近くだったといわれている。喪主は

孫の太郎興邦だが病氣のために駕籠で柩のお供をした。この孫も翌年二十二才の若さで死んだ。琴童お路は、子の興邦死んでから九年後の安政五年八月十七日死去した。享年五十三才だった。

以上で、八犬伝の馬琴を終了する。書けばまだ長々と物語りは続くが、山古志郷の牛の角突きが八犬伝の一節に載っているのを紹介の関連から作者馬琴の一片をひろった。それがグラダラ長すぎたようだが、これで馬琴生涯のうちの一髪にすぎない。

だが、牛の角突きの一節が八犬伝に載っていたことにより、その時代の民俗風習がわかる記録として貴重なものである。これは他地方にある闘牛には見る事の出来ないことは申すまでもない。

終り。